

## ●社会との連携及び協力を推進する体制の強化

社会連携推進の窓口として、自治体や後援財団、京大 会館などの関連団体、他大学、政府関係機関、卒業生、元教職員等広く社会との連携・協力を強化していくために、平成17年4月に社会連携推進課を設置しました。

## ●公開施設

和歌山県白浜町にある瀬戸臨海実験所水族館は、博物館法による博物館相当施設の指定を受けて一般に公開している水族館です。

総合博物館では、標本資料等による常設展示のほか、春秋の企画展示などを通し広く社会に公開し、知的啓発に努めています。

ほかに、附属図書館における貴重資料等による公開企画展や大学文書館による大学史料等による企画展・テーマ展を行っています。(入場料無料)

## ●公開講座など

平成17年度においては、一般の方を対象に生涯学習の講座として、総合博物館による企画展と連携した「考古学を愉しむ」、「日本の動物はどこからきたのか」、フィールド科学教育研究センターによる「森のしくみとその役割」(2泊3日の宿泊型)、教育学研究科による「子供たちと暴力」など、あわせて20件を超える公開講座を開設しました。

また、大学と社会との協力・連携を一層深めるため、企業や官庁、大学・研究機関、マスメディア、文化・芸術など様々な分野で活躍する卒業生が講演を行う「京都大学未来フォーラム」を9回開催しました。

その他にも、京都大学春秋講義(春季、秋季)、京都大学市民講座、各研究科・研究所や21世紀COEなど主催の公開講演会なども多数開講しました。

また、教育推進活動の一環として、普段大学で行っている授業を中学生に向けて行うジュニアキャンパスや、社会の中で経験を積んだシニアを対象として、全学規模で初めての合宿型のシニアキャンパスなども実施して、より多くの一般の方に学習の機会を提供するように努めています。

## 公開施設の観覧料

(単位:円、( )は団体観覧料)

施設名称	利用料金	
瀬戸臨海実験所水族館 (和歌山県白浜町)	高校生以上	500 (450)
	小・中学生	110 (60)
総合博物館 (京都市左京区)	一般	400 (300)
	高校・大学生	300 (200)
	小・中学生	200 (100)

## 入場料収入

(単位:百万円)

区 分	16年度	17年度
瀬戸臨海実験所水族館	23	25
総合博物館	5	6
計	28	31

## 入場者数

(単位:人)

区 分	16年度	17年度
瀬戸臨海実験所水族館	54,974	58,292
高校生以上	44,728	47,967
小・中学生	8,831	7,725
無 料	1,415	2,600
総合博物館	25,502	29,930
一般	9,059	11,282
高校・大学生	2,989	3,772
小・中学生	2,585	2,896
無 料	10,869	11,980